



株 主 の 皆 様 へ

2011年度事業のご報告

第112期2011年4月1日から2012年3月31日まで

NGK **NTK** 日本特殊陶業株式会社
スパークプラグ ニューセラミック

証券コード 5334

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、日本特殊陶業グループの第112期（2011年4月1日～2012年3月31日）の事業および現状についてとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

■当期の連結業績について

第112期の連結業績は、
売上高2,847億46百万円（前期比5.8%増）、
営業利益244億78百万円（前期比14.9%減）、
経常利益237億40百万円（前期比13.3%減）、
当期純利益255億24百万円（前期比7.8%増）
となりました。

なお、当期より、米国の連結子会社3社（米国ホールディング株式会社、米国特殊陶業株式会社、米国テクノロジー株式会社）につきまして、決算日を12月31日から3月31日に変更しました。決算日変更の理由は、IFRS（国際財務報告基準）適用に備えるとともに、親会社と事業年度を統一し、当社グループとして効率的な経営計画の策定と決算業務の精度向上を図ることを目的としています。これにより、当該子会社3社は2011年1月1日から2012年3月31日までの15ヶ月の経営成績が反映されています。この期間変更により、売上高は158億円、営業利益は2億円、経常利益は3億円、当期純利益は2億円の増加となっています。

■次期の見通しについて

欧州における金融不安や新興国経済の減速傾向、また為替市場における円高局面が暫く続くと思われ、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況と予想されます。



代表取締役社長
社長執行役員

尾堂 真一

次期の業績につきましては、為替レートを1ドル=80円、1ユーロ=105円を前提に、売上高は2,787億円(当期比2.1%減)、営業利益は270億円(当期比10.3%増)、経常利益は283億円(当期比19.2%増)、当期純利益は214億円(当期比16.2%減)を計画しています。

自動車関連事業分野においては、エコカー補助制度復活による内需拡大や米国を中心とした堅調な海外需要により、売上高2,172億10百万円(当期比2.4%減)、営業利益314億80百万円(当期比2.5%増)となる見込みです。

情報通信関連事業分野においては、新規ビジネスの獲得とともに、コスト管理の徹底や量産品の生産委託先への全面移管等、既存ビジネスの価格競争力改善による収益性の向上を目指し、売上高346億33百万円(当期比2.2%増)、営業損失57億6百万円(当期 営業損失75億83百万円)となる見込みです。

セラミック関連事業分野においては、さらなる安定した収益体制を確立し、売上高213億67百万円(当期比10.0%減)、営業利益11億84百万円(当期比9.5%減)となる見込みです。

■利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営における最重要政策のひとつと認識し、安定的な配当の継続を基本方針として株主の皆様のご期待に応えていきます。一方で収益に応じた利益の還元も重要と考えており、当面、連結での配当性向20%以上を目処にして、基本方針である安定的な配当水準や、将来の成長に必要な研究開発、事業拡大・合理化のための設備投資および出資に充てる内部留保を総合的に考慮した上で、中間および期末配当を継続的に実施していく方針です。また、資本効率の向上を図るために自己株式の取得も有効と認識しており、必要に応じて実施していきたいと考えています。

こうした利益還元をより機動的に行うために、剰余金の配当等に関しては定款の定めるところにより、取締役会の決議事項としています。

第112期の1株当たり配当金につきましては、中間配当=11.0円、期末配当=11.0円とし、年間22.0円とさせていただきます。また、第113期の1株当たり配当金につきましても、普通配当金として年間22.0円を予定しています。

スパークプラグ用絶縁体工場の新設を決定

当社はこのたび、スパークプラグ需要の増加に対応するため、スパークプラグ用絶縁体の新工場建設を決定しました。

当社主力製品のスパークプラグはこれまで順調に業容を拡大してきました。現在も旺盛な需要に対応すべく、工場はフル操業の状態となっていますが、世界需要は新興国を中心にますます拡大するものとみています。従いまして、今後のさらなる需要増に即応できる供給能力を整備し、成長の機会を取りこぼすことのない生産体制を構築することが急務となっています。

こうした背景から検討を重ねた結果、岐阜県可児市の工場用地に新たにスパークプラグの基幹部品である絶縁体の工場建設を決定しました。

当社は今後も市場のニーズに対してより迅速に高品質な製品を提供するとともに、地域の活性化や経済発展にも貢献しながら、企業として成長・発展していきます。



建設予定地：岐阜県可児市二野工業団地

● 新工場の概要

建設予定地：岐阜県可児市二野工業団地内
(工場用地取得済み)

生産品目：スパークプラグ用絶縁体

生産能力：1,350万本/月 (第1次)

延床面積：約78,000㎡

着工予定：2012年11月

操業開始：2014年4月から段階的に操業

投資金額：約280億円 (建屋、第1次設備)

酸素センサの生産能力増強を決定

当社センサ事業の主力製品である酸素センサの中核部品であるセンサ素子の生産能力増強を決定しました。

酸素センサは、現在の排ガス浄化システムの空燃比制御において重要な役割を担う機能部品として広く普及しているセンサです。

自動車用酸素センサの需要は中国をはじめ新興国を中心に今後も増加傾向にあります。また世界的な環境保全の流れから二輪車にも排ガス規制が適用され、アジア圏を中心に二輪車への酸素センサ採用も増加していくことから、今後も世界規模で需要は拡大していくものとみています。

こうした将来の需要拡大に備え安定した供給体制を構築し、センサ事業を継続的に成長させるべく、同センサの中核部品である素子の生産能力増強を決定しました。

このたびの生産能力増強に併せて高効率の生産設備を導入することで生産性の向上を図り、さらなる競争力の強化も実現することで、世界トップシェアメーカーとしての地位を揺るぎないものにしていきたいと考えています。



新・センサ原料棟



酸素センサ

● 投資概要

- (1) 原料工場建屋新築
生産拠点：当社小牧工場内
建屋規模：延床面積 約7,300㎡
投資金額：約22億円（建屋・設備）
- (2) セラミックセンサ増床改築
生産拠点：セラミックセンサ株式会社
（当社100%出資）内
増床規模：延床面積 約2,100㎡
投資金額：約30億円（建屋・設備）
- (3) 生産能力
現状能力から約15%増
- (4) 生産開始
2013年5月から順次開始

名古屋市民会館のネーミングライツを取得

このたび、当社は名古屋市民会館のネーミングライツパートナー企業として選定されました。

当社は、『良き企業市民として積極的に社会貢献活動を行う』と企業行動規範にも定めているように、これまで地域の経済活性化や、文化振興に関する様々な活動を行ってきました。

今回、名古屋を代表する文化施設であり、文化交流の場として親しまれている名古屋市民会館のパートナー企業となることで、地域社会への貢献を果たすとともに、地域の皆様、ご来場になる皆様へ広く、当社に対して親しみを持っていただきたいと考えています。

このネーミングライツ取得を契機に、より一層の文化・芸術の振興と地域活性化に貢献することができるよう努力いたします。

1. ネーミングライツによる名称

区分	名称
施設名	日本特殊陶業市民会館
大ホール	フォレストホール
中ホール	ビレッジホール
地下鉄連絡通路	日本特殊陶業市民会館連絡通路

2. 契約期間

2012年7月1日 から 2017年3月31日

3. ネーミングライツ料

5,000 万円 (税抜・年額)

～ホール名の由来～

ホール名のフォレストとビレッジは当社ゆかりの森村グループに由来し、【森 (フォレスト)】と【村 (ビレッジ)】にちなんで名付けました。



契約発表会 (右:名古屋市長 河村市長)

「Table For Two」活動を拡大

当社は、社員食堂のヘルシーメニューを食べることで、開発途上国の子どもに学校給食をプレゼントすることができる「Table For Two」活動を、これまでの本社工場（名古屋市）に加え、小牧工場（愛知県小牧市）、伊勢工場（三重県伊勢市）にも拡大しました。

「Table For Two」は、社員食堂のヘルシーメニューを食べると、1食につき20円（従業員10円、会社10円）が開発途上国の子どもの学校給食となる活動です。

社員が気軽に参加することができ、社員と開発途上国の子どもの双方と一緒に健康になれる活動として、当社は趣旨に賛同し、昨年10月より本社工場で活動をスタートさせました。この活動に小牧・伊勢の2工場が加わることで、活動の輪が約5倍に広がり、さらなる開発途上国の子どもへの支援の拡大と社員の健康増進が期待できます。

当社は今後もこのような活動を通じて、国際企業の一員として積極的に社会貢献活動に努めていきます。



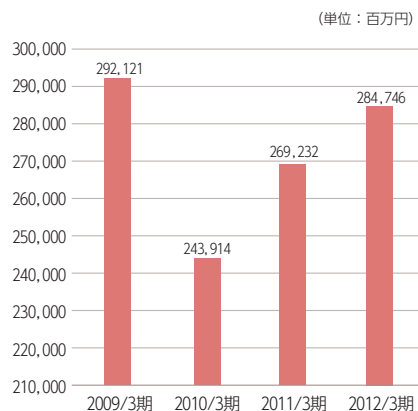
☆TFTヘルシーメニュー 例

春の豆腐ハンバーグ、
南京のプチプチサラダ 640kcal

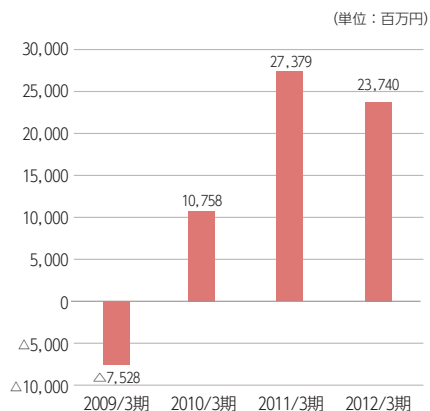
当期の業績(連結)

売上高	2,847億46百万円 (前期比 5.8%増)
経常利益	237億40百万円 (前期比13.3%減)
当期純利益	255億24百万円 (前期比 7.8%増)
1株当たり当期純利益	117円25銭

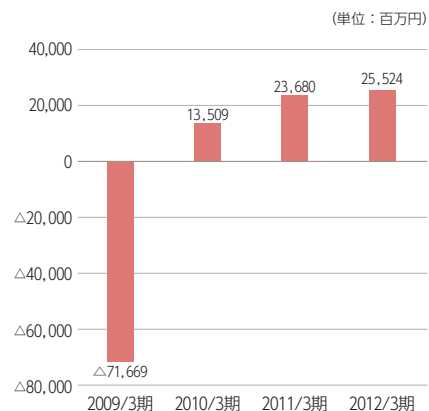
売上高



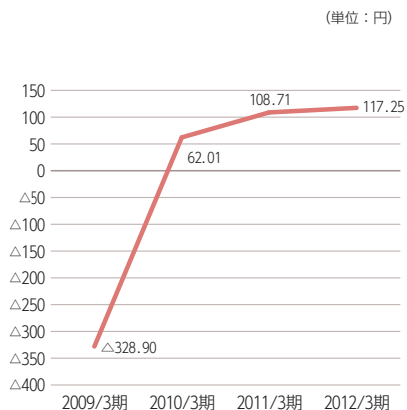
経常利益



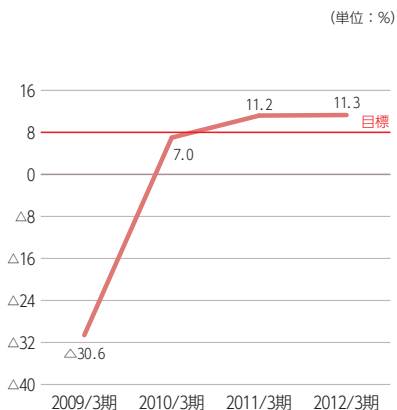
当期純利益



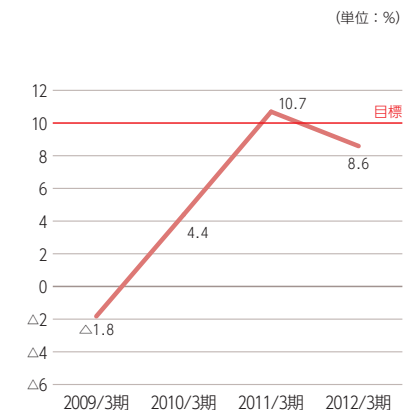
1株当たり当期純利益



自己資本当期純利益率 (ROE)



売上高営業利益率



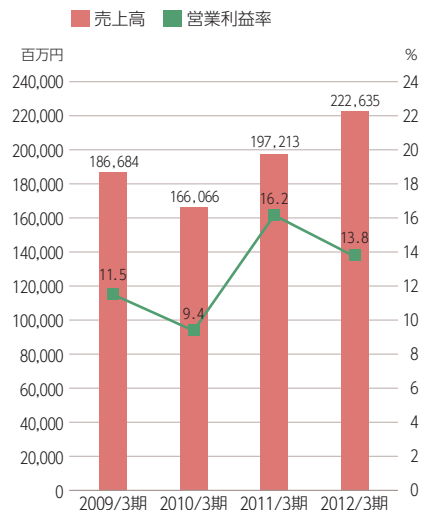
自動車関連事業

連結売上高 2,226億35百万円 (前期比12.9%増)

連結営業利益 307億 3百万円 (前期比 3.9%減)

当事業は、新車組付用市場では、日系自動車メーカー向けにおいて東日本大震災やタイの洪水影響による生産調整を受けましたが、北米や欧州メーカー向けの出荷が堅調に推移しました。また補修用市場においても北米や新興国における販売が好調でした。

自動車関連事業売上高・営業利益率



情報通信関連およびセラミック関連事業

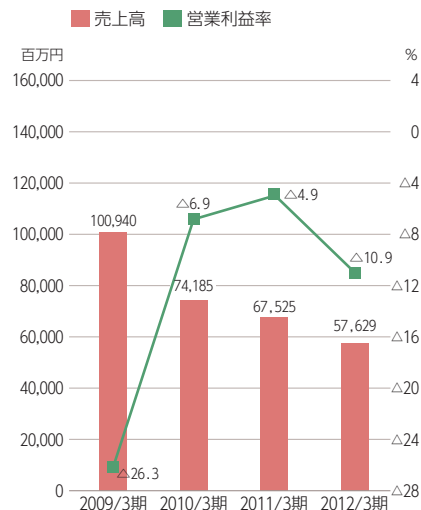
連結売上高 576億29百万円 (前期比14.7%減)

連結営業損失 62億75百万円 (前期営業損失33億27百万円)

情報通信関連事業は、パソコンや携帯電話、民生機器用途の製品出荷が堅調に推移してきたものの客先受注が伸び悩み、また為替相場における円高影響で売上高が大きく目減りしました。

セラミック関連事業は、産業用機器や半導体製造装置向けの製品出荷は、年度前半の好調に対し、後半はデジタル家電の出荷減少による在庫調整や欧州市場の停滞の影響を受け、売上高が落ち込みました。また工作機械向けの製品出荷は、米国やアジア等海外を中心に堅調に推移しました。

情報通信・セラミック関連事業売上高・営業利益率



その他の事業

連結売上高 44億80百万円 (前期比 0.3%減)

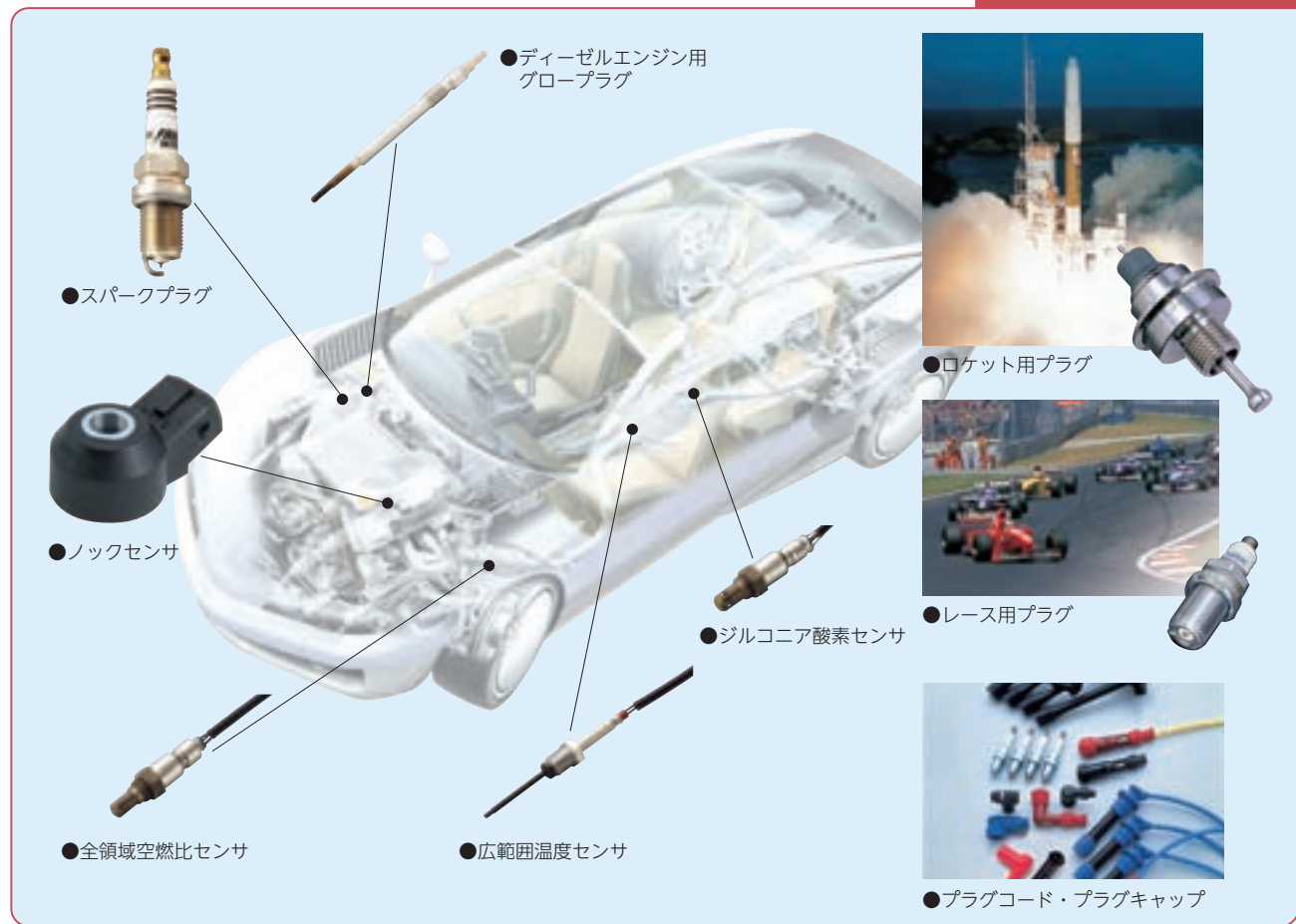
連結営業利益 50百万円 (前期比67.5%減)

自動車関連事業

モータリゼーションを取り巻く環境は、自動車の利便性・快適性・機能性だけでなく、資源保護や環境保全を含めた多面的な開発姿勢が強く求められています。こうした要望に応じて、当社ではスパークプラグをはじめ、酸素センサ、ノックセンサなどの幅広い自動車部品を開発してきました。スパークプラグ

は国内外のほとんどの自動車メーカーに採用され、排気ガス浄化システム用酸素センサとともに世界トップクラスのシェアを誇っています。

自動車関連事業 主要製品



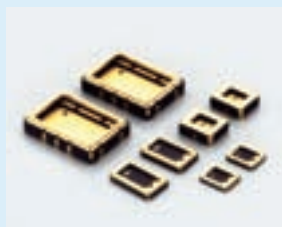
情報通信関連およびセラミック関連事業

情報通信技術の多種多様なニーズに応える総合ICパッケージメーカーとして、セラミックや有機材料を使い、パソコンの心臓部であるMPU用、携帯電話をはじめとする通信機器に搭載されるデバイス用やLED用のパッケージを各種取り揃えています。

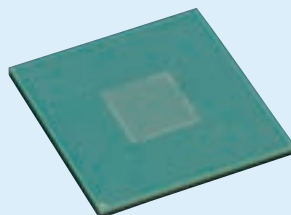
またセラミック応用製品として、長寿命・高精度加工を実現する切削工具、超音波ウェルダーなどに使用される超音波振動

子といった産業分野をはじめ、バイオセラミックスや在宅酸素療法に使われる酸素濃縮器などの医療分野、温水便座に使用されるセラミックヒータなどの生活関連分野、そして半導体製造装置用部品など各種幅広く使用されています。

情報通信関連およびセラミック関連事業 主要製品



●水晶デバイス・SAWフィルター用パッケージ



●有機ICパッケージ



●LED用パッケージ



●切削工具

●超音波振動子



●酸素濃縮器



●バイオセラミックス



●半導体製造装置用部品



連結貸借対照表

単位：百万円

資 産 の 部			負債及び純資産の部		
科 目	2011年3月末	2012年3月末	科 目	2011年3月末	2012年3月末
流 動 資 産	191,062	206,897	流 動 負 債	53,173	58,217
現金及び預金	27,274	20,463	買掛金	30,182	23,557
受取手形及び売掛金	44,393	50,727	短期借入金	703	1,250
有価証券	40,915	57,069	1年内償還予定の社債	—	10,000
たな卸資産	62,086	62,061	リース債務	225	310
繰延税金資産	8,100	8,626	未払法人税等	1,336	1,238
その他	8,408	8,119	繰延税金負債	72	76
貸倒引当金	△116	△171	その他	20,653	21,784
固 定 資 産	146,255	133,398	固 定 負 債	65,985	46,464
有 形 固 定 資 産	86,170	83,483	社債	35,000	25,000
建物及び構築物（純額）	44,153	41,135	リース債務	769	838
機械装置及び運搬具（純額）	23,213	22,516	退職給付引当金	17,615	17,728
土地	15,132	15,017	負ののれん	49	32
建設仮勘定	1,542	2,721	繰延税金負債	11,158	1,142
その他（純額）	2,127	2,091	その他	1,392	1,722
無 形 固 定 資 産	5,565	4,379	負 債 合 計	119,158	104,682
のれん	27	—	株 主 資 本	225,901	246,609
ソフトウェア	5,494	4,184	資本金	47,869	47,869
その他	44	194	資本剰余金	55,162	54,824
投資その他の資産	54,520	45,536	利益剰余金	138,071	151,440
投資有価証券	50,295	42,872	自己株式	△15,202	△7,525
繰延税金資産	2,600	843	その他の包括利益累計額	△9,422	△12,550
その他	1,728	1,921	その他有価証券評価差額金	10,433	11,815
貸倒引当金	△104	△101	為替換算調整勘定	△19,856	△24,366
資 産 合 計	337,318	340,295	少 数 株 主 持 分	1,681	1,555
			純 資 産 合 計	218,159	235,613
			負 債 純 資 産 合 計	337,318	340,295

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

単位：百万円

科 目	2011年3月期	2012年3月期
売 上 高	269,232	284,746
売 上 原 価	195,461	213,408
売 上 総 利 益	73,771	71,337
販売費及び一般管理費	45,000	46,859
営 業 利 益	28,770	24,478
営 業 外 収 益	3,107	2,807
受取利息及び配当金	1,664	1,973
そ の 他	1,442	833
営 業 外 費 用	4,499	3,545
支 払 利 息	646	630
そ の 他	3,852	2,915
経 常 利 益	27,379	23,740
特 別 利 益	189	82
固 定 資 産 売 却 益	189	82
特 別 損 失	748	1,923
固 定 資 産 処 分 損	389	230
減 損 損 失	—	1,141
投資有価証券評価損	222	552
資産除去債務会計基準 の適用に伴う影響額	136	—
税金等調整前当期純利益	26,821	21,899
法人税、住民税及び事業税	4,176	4,076
法人税等調整額	△1,325	△7,951
少数株主損益調整前当期純利益	23,969	25,774
少数株主利益	288	249
当 期 純 利 益	23,680	25,524

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科 目	2011年3月期	2012年3月期
税金等調整前当期純利益	26,821	21,899
減 価 償 却 費	16,646	15,438
売上債権の増減額	△2,127	△8,096
たな卸資産の増減額	△6,904	△2,342
仕入債務の増減額	2,297	△4,508
法人税等の支払額	△4,109	△4,234
そ の 他	2,775	2,924
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,398	21,079
定期預金の増減額	1,248	68
有価証券の増減額	△13,829	△3,347
有形及び無形固定資産の取得	△8,056	△12,899
そ の 他	224	327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,412	△15,850
社債の償還による支出	△2,666	—
配当金の支払額	△3,591	△4,785
そ の 他	△896	97
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,154	△4,688
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,308	△604
現金及び現金同等物の増減額	5,524	△63
現金及び現金同等物の期首残高	46,364	51,888
現金及び現金同等物の期末残高	51,888	51,824

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 (2012年3月期)

単位：百万円

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整	その他の包括利益累計額合計		
2011年4月1日期末残高	47,869	55,162	138,071	△15,202	225,901	10,433	△19,856	△9,422	1,681	218,159
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△4,789		△4,789					△4,789
当期純利益			25,524		25,524					25,524
自己株式の取得				△30	△30					△30
自己株式の処分		△0		4	3					3
自己株式の消却		△336	△7,365	7,702	—					—
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						1,382	△4,510	△3,128	△126	△3,254
連結会計年度中の変動額合計	—	△337	13,369	7,676	20,708	1,382	△4,510	△3,128	△126	17,453
2012年3月31日期末残高	47,869	54,824	151,440	△7,525	246,609	11,815	△24,366	△12,550	1,555	235,613

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結子会社 (2012年3月期 32社)

米国特殊陶業株式会社
 米国テクノロジー株式会社
 英国NGKスパークプラグ株式会社
 欧州NGKスパークプラグ株式会社
 フランスNGKスパークプラグ株式会社
 ブラジル特殊陶業有限会社
 上海特殊陶業有限会社
 オーストラリアNGKスパークプラグ株式会社
 セラミックセンサ株式会社
 株式会社日特製作所
 株式会社神岡セラミック
 NTKセラミック株式会社
 他 20社

配当金の推移

(1株あたり)

	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	(2013年3月期)
中間	5円50銭	11円	11円	(11円)
期末	5円50銭	11円	11円	(11円)
年間	11円	22円	22円	(22円)

() は予定

持分法適用会社 (2012年3月期 2社)

友進工業株式会社
 東海耐摩工具株式会社

取締役

代表取締役 取締役会長	加藤倫朗
代表取締役 取締役副会長	川原一雄
代表取締役 取締役社長 社長執行役員	尾堂真一
取締役 専務執行役員	大島崇文
取締役 専務執行役員	柴垣信二
取締役 常務執行役員	河尻章吾
取締役 常務執行役員	中川武司

監査役

常勤監査役	浅井正美
常勤監査役	多島容
監査役	佐尾重久
監査役	増田健一

執行役員

常務執行役員	鈴木淳一郎
常務執行役員	小磯英之
執行役員	松成慶一
執行役員	飯見均
執行役員	濱田隆男
執行役員	河合忠男
執行役員	大川哲平
執行役員	鈴木英光
執行役員	鈴木隆博
執行役員	中西寿
執行役員	川合尊

【執行役員制度の導入について】

現在、当社を取り巻く事業環境や世界経済の激変に際して、今後も生き抜き、さらなる成長を続けるために、2012年4月1日より執行役員制度を導入いたしました。

本制度の導入により、全社的な視点と業務執行視点、それぞれの責任が明確になります。これにより双方の機能が強化され、よりスピーディーかつ柔軟な意思決定と業務執行が可能となります。

流動する世界経済の中、当社は継続的な発展を目指して改革を実行していきます。

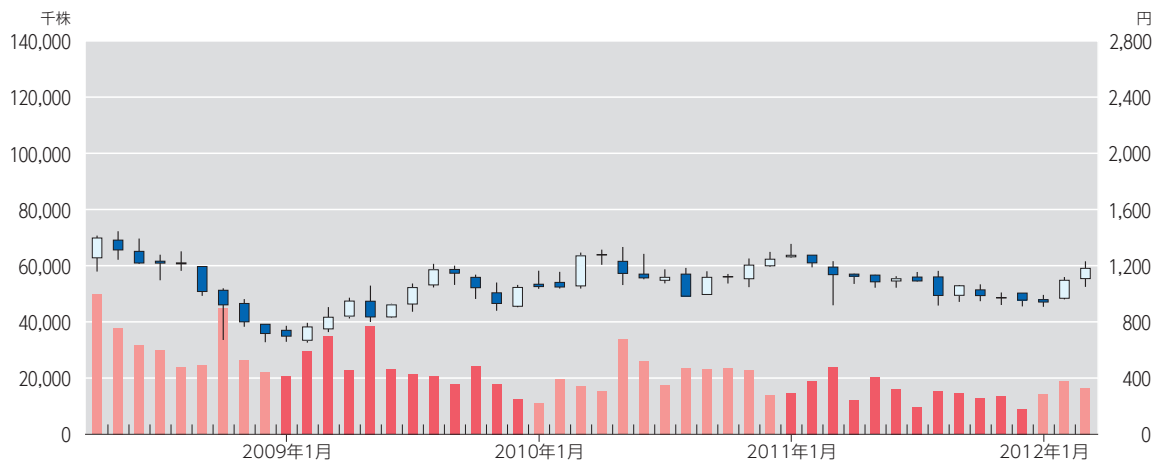
発行する株式の総数 390,000,000株
 発行済み株式の総数 223,544,820株
 株 主 数 14,523名

大株主

株 主 名	所有株式数	持株比率	
		千株	%
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	16,827		7.73
第一生命保険株式会社	16,752		7.70
明治安田生命保険相互会社	13,794		6.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,493		4.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,470		4.81
日本生命保険相互会社	7,125		3.27
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,541		3.00
全国共済農業協同組合連合会	6,138		2.82
メロンバンクエヌイー・アズイー・エージェントフォーイッツ クライアントメロンオムニバスユーエス・ペンション	5,470		2.51
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505225	5,374		2.47

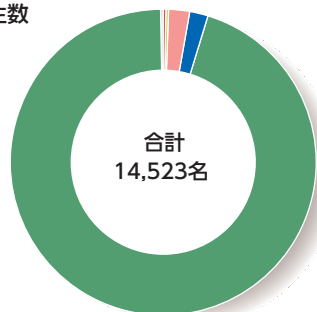
(注) 1.当社は、2012年3月31日現在自己株式を5,864千株保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
 2.持株比率は、自己株式(5,864千株)を控除して計算しております。

株価および株式売買高(東京証券取引所)

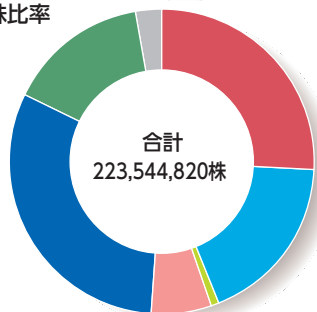


所有者別株式分布状況

株主数



持株比率



- 金融機関
75名(0.52%)
 - 金融商品取引業者
36名(0.25%)
 - その他国内法人
304名(2.09%)
 - 外国法人・外国人
294名(2.02%)
 - 個人・その他
13,813名(95.11%)
 - 自己株式
1名(0.01%)
-
- 金融機関
26.06%(58,246,486株)
 - 信託業務に関する株式関係
18.10%(40,463,075株)
 - 金融商品取引業者
0.68%(1,531,092株)
 - その他国内法人
6.32%(14,138,984株)
 - 外国法人・外国人
31.28%(69,915,131株)
 - 個人・その他
14.94%(33,385,426株)
 - 自己株式
2.62%(5,864,626株)

商 号 日本特殊陶業株式会社
英文社名 NGK SPARK PLUG CO., LTD.
本社所在地 〒467-8525 愛知県名古屋市瑞穂区高辻町14番18号
設立年月日 1936年(昭和11年)10月26日
資 本 金 478億69百万円

主要生産品目

自動車関連部門

スパークプラグ(自動車用、航空機用、農林・船舶・産業用、レース用)、ディーゼルエンジン用グロープラグ
 自動車用各種センサ(酸素センサ、ノックセンサ 他)
 セラミック製エンジン部品 他

情報通信関連およびセラミック関連部門

半導体用部品 セラミック積層型ICパッケージ、オーガニックICパッケージ、通信デバイス用パッケージ 他
機 械 工 具 セラミック切削工具、サーメット切削工具、コーティング切削工具、微粒子超硬合金切削工具 他
応用セラミック 真空スイッチ容器、半導体製造装置用部品、セラミックヒータ、シリコン整流器用容器、バイオセラミックス、医療用酸素濃縮器、超音波振動子、誘電体フィルタ、誘電体共振器 他

主な事業所 工 場：本社工場、小牧工場、鹿児島宮之城工場、伊勢工場
 支 社：東京
 営業所：東京、大阪、名古屋、広島、福岡、仙台、札幌、埼玉

従 業 員 [連結] 12,064人 [単独] 5,845人

ホームページのご案内

日本特殊陶業のホームページでは、IR(投資家向け)情報や、スパークプラグをはじめとする製品に関するご案内などの情報を掲載しております。是非一度ご覧ください。

<http://www.ngkntk.co.jp/>



CSRへの取り組み

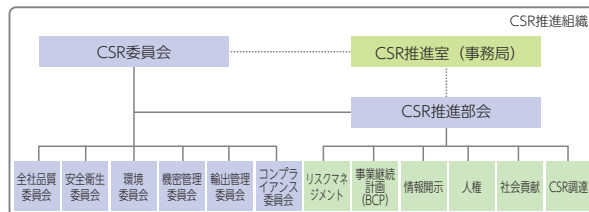
※CSR=Corporate Social Responsibility

私たちは、企業理念に基づき、当社グループの経済・環境・社会活動をグローバルな視点で再点検し、社会への説明責任を果たし、企業価値の向上については社会の持続的発展に寄与することを「私たちのCSR」と考えています。

● コンプライアンス (法令等遵守) の実践

当社グループが社会の一員として認められ、持続的な発展をしていくために、コンプライアンスは経営の基本であり、CSRの基盤です。そのため、「コンプライアンスの実践」をCSRの重点テーマに掲げ、コンプライアンス委員会を中心とする推進体制を整備して、コンプライアンス違反の未然防止と早期対応に取り組んでいます。

- ・企業倫理ヘルプライン (内部通報) 制度が有効に機能することが不可欠であることから、従業員が利用しやすいよう匿名での相談・通報を可能にするなど、制度の見直しを行いました。
- ・従業員への教育として、2012年1月に『コンプライアンスガイドブック』を発行し、国内グループ全従業員に配布しました。読み合わせを実施するなど、法令等への理解を深めています。



環境への取り組み

● エコビジョン2015

2011年度より新たに「エコビジョン2015」を制定し、環境保全活動に取り組んでいます。「エコビジョン2015」は、2015年度までの5年間の活動指標を示すものであり、その活動結果は、毎年CSR報告書で報告します。

● 節電およびCO₂排出量削減の取り組み

東日本大震災に伴う節電対応として、夏の平日昼間の電力使用を抑制するため、勤務体制や生産体制の変更を行いました。また、省エネ意識を一層高めて電力の使用を見直すとともに、空調の温度管理の徹底、空調設備の清掃、チャラーへの散水など、これまで以上に省エネ対策を徹底しました。その結果、2011年度は、CO₂排出量を目標値よりも抑制することができました。

環境方針

(2011年4月制定)

私たちは、持続可能な社会の構築に寄与するため、総員参加のもと、すべての事業活動を通じて、環境保全活動を積極的に推進します。

【行動指針】

- 環境経営 環境保全に関する法律・条例・協定、および、自主基準を遵守し、環境汚染を防止するとともに、グローバルな視点で環境管理システムおよび環境パフォーマンスの継続的な改善を図ることにより、環境保全と企業成長の両立を目指します。
- 事業活動 原材料調達から製品廃棄までの製品ライフサイクル全体を通して、地球温暖化防止、資源循環促進、生物多様性保全に貢献できるよう、環境に配慮した事業活動を推進します。
- 社会連携 情報開示とコミュニケーションの充実を図り、ステークホルダーからの信頼を高めるとともに、社会との連携を深めます。また、全従業員が積極的に環境保全活動に取り組むよう、環境意識の向上を図ります。

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京・名古屋 (第1部)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.ngkntk.co.jp/koukoku/ (ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および中日新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません。ご注意願います。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行証券代行部へお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の全国本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。

NGK **NTK**
スパークプラグ ニューセラミック

日本特殊陶業

愛知県名古屋市瑞穂区高辻町14番18号
<http://www.ngkntk.co.jp/>



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

